

さわやかちば県民プラザ主催事業等実施報告

実施日	令和7年12月20(土)、21日(日)		
事業名	令和7年度(第28回)高校生バンドフェスティバル		
趣 旨	高校生で編成されたバンドに、日頃の活動成果を発表する機会を提供し、音楽活動とおとして、地域や学校の枠を越えた高校生同士の交流を図る。 また、この経験を糧とし、将来的に文化活動を支える担い手の育成を図るとともに、参加型芸術文化活動をより一層促進する。		
会 場	さわやかちば県民プラザ ホール		
対 象	県内に在住または県内高等学校に在学する高校生で編成されたバンド		
申込方法	Web 申込(演奏動画添付)		
募集定員	24組の高校生バンド	募集期間	動画審査:令和7年8月1日から令和7年9月30日
参加者数	24組106名の高校生バンド 観覧者227名	参加費用	無料
講師 等	玉置 瞬 氏(柏市立柏高等学校教諭) 薦 春紀 氏(千葉県立柏の葉高等学校教諭) 内記 達弥 氏(千葉県立流山のおおたかの森高等学校教諭) 澤 祥太 氏(柏市立柏高等学校出身・同校軽音楽部コーチ) 小谷野 大樹 氏(RUDE MAN(ルードマン)ボーカリスト)		
実施内容	<p>内容:動画審査を通過した22校24組のバンドにより2日間に渡りバンドフェスティバルを行った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <p>【舞台袖からの様子】</p> <p>【正面からの様子】</p> </div>		
参加者アンケート	<p>【満足度 100%】</p> <p>「顧問」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒たちにとって良い経験となったと感じております。 ○各バンドとも程よい持ち時間で転換にも十分な余裕があり、とても良かったです。 ○前列の席がスカスカになってしまうのでなにかいい案があるといいのですが…。 ○生徒さんたちがしっかり運営していて素晴らしいなと思いました。 		

	<p>○高文連の千葉県大会と出場資格をそろえて頂いて「私立中高一貫の場合、中学生のエントリー」も認めていただきたい。実施要項に動画審査結果公開日を御記載頂けると幸いです。駐車券は大変助かりました。</p> <p>「出演者」</p> <p>○楽しかったです！10</p> <p>○初めてのホールでの演奏だったのですが、新鮮でとても気持ちよかったです。4</p> <p>○観客も盛り上がっていて楽しかった。PAの方の対応がスムーズでやりやすかった。</p> <p>○同年代の人の音楽への憧れが力になるようなコミュニティの場で成長に繋がりました！</p> <p>○会場が乾燥し気味だったので加湿等していただければ嬉しいなあと思います。</p> <p>○また機会があれば参加させてください。</p> <p>○色んなバンドを見れて、ためになる好評をいっぱいもらって楽しかった！</p> <p>○もっとバンドを交流させる時間がほしかったです。</p> <p>○とても勉強になった。今後の音楽活動にも活かしていきたい。</p> <p>○照明がよかった。</p> <p>「一般観覧者」</p> <p>○高校生の元気なバンドに感激です。とっても良かったです。4</p> <p>○色々な他校のバンドの演奏を聴くことができ、自分の勉強にもなりました。4</p> <p>○どのバンドも迫力がすごくて自分も出れるように頑張りたいと思いました！3</p> <p>○長く継続してください。絶対にまたやってください！2</p> <p>○友人を誘ってぜひまた来たいと思いました。2</p> <p>○転換をもう少し短くしてもいいと思います。2</p> <p>○もっと盛り上がりたい！</p> <p>○時間に余裕があるスムーズな進行、素晴らしかったです。</p> <p>○全てが整った施設でとても良かった。音がキレイで光がはっきり見えて良かったです。</p> <p>○観衆、聴衆が少ない！校内、校外、地域へのPR不足？もったいない。</p> <p>○出演者の皆さんがとってもお上手なのでいい勉強になりました。推しバンドできました。</p>
<p>担当者の 所感</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上位10バンドは無条件でフェスティバル進出、11組目以降については、1校につき1バンド制(上位10バンドに選ばれた学校からは非選出)を取り入れ、質の向上も図った。 ・進行表を共有し、ボランティア生徒を多く配置することで、ホールスタッフと円滑に連携することができた。 ・各校顧問に、事前に大まかな出演の流れを伝えることで、円滑な進行ができた。 ・一般観覧者を入れての開催であったが、大きなトラブルなく実施することができた。 ・それぞれの演奏を聞き合うよう事前に呼び掛けたことで、「他校の演奏を聞けてよかった。」「勉強になった。」などの感想が多く聞かれた。 ・出演後に、講師から出演者に丁寧で親切な講評が行われたことで、出演者の資質向上、軽音楽の普及に貢献できた。

【課題・今後の方向性】

- ・集客については、アンケートでも書かれているとおり少ないことが課題となった。広報の仕方や参加校の受付時間について工夫していかなければならないと感じた。チラシへの記載方法についても再検討していく。
- ・次年度も演奏動画審査のみで出場校を決定しフェスティバルを実施する。
- ・出演予定者の体調不良等で動画審査後のメンバー変更の依頼が5バンドあったが、すべてを承認した。今後も柔軟に対応をしていきたい。
- ・事前に提出いただいた楽器のセッティングシートに、対応不可のこと(無線機材)を記入してくる学校が見られた。要項を顧問も生徒も読んでいないケースがあるため、周知の仕方に工夫が必要である。
- ・無線アンプの使用を求める団体が5バンド以上あった。これを許可して運営方法を再考するほうが時代のニーズに合った運営といえる。当所の機材の機能を再検証し、検討していくべきである。
- ・演奏時間が1バンド20分あること、照明効果が素晴らしいこと、講師から15分以上にわたり講評してもらえること等、県軽音楽専門部主催の行事と比較してオリジナリティがあるため、今後も当事業を継続、発展させていくべきである。